

第59期 中間報告書

2019年1月1日から2019年6月30日まで



第19回 厨房設備機器展（HCJ2019）当社出展ブース



大和冷機工業株式会社

<http://www.drk.co.jp>

証券コード 6459

株主の皆様へ

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、2019年6月30日をもちまして、第59期事業年度の中間期（2019年1月1日から2019年6月30日まで）を終了致しましたので、この期間の事業の概況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年9月



代表取締役社長
尾崎 敦史

事業の概況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益が底堅く推移するとともに、雇用情勢の改善が継続する等、景気は緩やかな回復基調が続きました。一方、米中貿易摩擦問題やイギリスのEU離脱問題の長期化等、わが国経済を下押しするリスクにより、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社を取り巻く環境は、主要取引業種である外食産業において、個人消費の底堅い動きにより売上は堅調であるものの、業種業態を越えた競争の激化、採用難に伴う人件費の上昇及び原材料価格の高騰に直面し、引き続き厳しい状況にありました。

このような状況のもと、当社は総合厨房機器メーカーとして、従来からの業務用冷凍・冷蔵庫とともに配膳作業の省力化となる冷温切替ショーケースや自動洗浄機能が備わったスチームコンベクションオープンといった、「人手不足」や「衛生管理」をサポートする機器を市場投入することで、幅広い顧客ニーズに応え、新規顧客の獲得並びに顧客満足度の向上に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高194億円（前年同期比3.5%増）、営業利益29億8千8百万円（前年同期比9.0%増）、経常利益30億6千4百万円（前年同期比9.9%増）、四半期純利益20億5千8百万円（前年同期比11.8%増）となりました。

今後の見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善等から、景気の回復の継続が期待されるものの、米中貿易摩擦の動向や中国経済の下振れ懸念等、海外経済の不確実性から予断を許さない厳しい経済環境が続くものと予想されます。

このような環境のもと、当社は、社業の安定成長を図るため、顧客のニーズを的確かつ迅速に捉えて新製品の開発と新規顧客の開拓に繋げ、常に安全・安心を提供できるサービス技術の一層の強化等、顧客の信頼に応えうる諸施策を積極的に推し進め、かつ、製造コストと経費の削減を図り、収益基盤の改善に努めてまいり所存であります。

なお、中間配当金につきましては、1株につき15円とさせていただきましたので、ご報告申し上げます。

四半期貸借対照表

(単位：百万円)

資 産 の 部			負 債 の 部		
期 別	当第2四半期会計期間	前 期	期 別	当第2四半期会計期間	前 期
科 目	2019年6月30日現在	2018年12月31日現在	科 目	2019年6月30日現在	2018年12月31日現在
流 動 資 産	57,334	54,215	流 動 負 債	10,694	9,859
現金及び預金	49,005	47,126	支払手形及び買掛金	5,161	5,016
受取手形及び売掛金	4,367	3,792	未払法人税等	1,114	1,304
商品及び製品	2,310	1,828	引 当 金	355	357
仕 掛 品	337	301	その他の流動負債	4,063	3,181
原材料及び貯蔵品	600	562	固 定 負 債	2,085	2,053
点検修理用部品	173	177	退職給付引当金	787	774
その他の流動資産	540	426	役員退職慰労引当金	1,288	1,269
貸倒引当金	△ 1	△ 1	その他の固定負債	9	9
固 定 資 産	19,872	21,597	負 債 合 計	12,779	11,912
有形固定資産	9,579	9,574	純 資 産 の 部		
無形固定資産	151	125	株 主 資 本	64,440	63,905
投資その他の資産	10,141	11,897	資 本 金	9,907	9,907
投資有価証券	1,991	1,909	資 本 剩 余 金	9,867	9,867
長期預金	6,000	8,000	利 益 剩 余 金	45,115	44,341
その他の投資	2,304	2,144	自 己 株 式	△ 450	△ 210
貸倒引当金	△ 154	△ 155	評 価 ・ 換 算 差 額 等	△ 13	△ 6
資 産 合 計	77,206	75,812	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△ 13	△ 6
			純 資 産 合 計	64,427	63,899
			負 債 ・ 純 資 産 合 計	77,206	75,812

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
 (当第2四半期会計期間)
 2. 有形固定資産の減価償却累計額 14,978百万円

四半期損益計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第2四半期累計期間	前第2四半期累計期間	前 期
	2019年1月1日から 2019年6月30日まで	2018年1月1日から 2018年6月30日まで	2018年1月1日から 2018年12月31日まで
売 上 高	19,400	18,737	39,881
売 上 原 価	7,558	7,398	16,089
売上総利益	11,841	11,339	23,792
販売費及び一般管理費	8,853	8,597	17,836
営業利益	2,988	2,742	5,956
営業外収益	214	101	212
受取利息及び配当金	35	28	60
投資有価証券評価益	93	-	-
その他の営業外収益	85	73	152
営業外費用	138	55	321
スクラップ処分費	117	36	107
その他の営業外費用	20	19	214
経常利益	3,064	2,788	5,847
特別利益	-	1	1
固定資産売却益	-	1	1
特別損失	0	47	61
固定資産除却損	0	0	0
投資有価証券評価損	-	47	61
税引前四半期 (当期)純利益	3,064	2,741	5,786
法人税、住民税及び事業税	984	935	1,968
法人税等調整額	20	△ 35	△ 55
法人税等合計	1,005	900	1,912
四半期(当期)純利益	2,058	1,841	3,873

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第2四半期累計期間	前第2四半期累計期間
	2019年1月1日から 2019年6月30日まで	2018年1月1日から 2018年6月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	1,730	2,220
投資活動による キャッシュ・フロー	1,667	△ 2,824
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,519	△ 512
現金及び現金同等物 の増減額	1,879	△ 1,117
現金及び現金同等物 の期首残高	46,926	45,957
現金及び現金同等物 の四半期末残高	48,805	44,839

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は営業活動や投資活動で得た資金を財務活動に充てた結果、前事業年度末と比べて1,879百万円増加の48,805百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の増加は、1,730百万円（前年同期に増加した資金は2,220百万円）となりました。これは主に、税引前四半期純利益3,064百万円、未払費用の増加995百万円などが、法人税等の支払額1,148百万円、売上債権の増加574百万円、たな卸資産の増加551百万円などを上回ったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の増加は、1,667百万円（前年同期に減少した資金は2,824百万円）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入2,200百万円が、固定資産の取得による支出319百万円、定期預金の預入による支出200百万円などを上回ったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の減少は、1,519百万円（前年同期に減少した資金は512百万円）となりました。これは、配当金の支払額1,279百万円、自己株式の取得による支出239百万円であります。

2019展示会出展実績



第19回 厨房設備機器展 (HCJ2019)
2019年2月19日(火)～2月22日(金)

当社ゆかりの地である大分県とのコラボで大分の食材を使用したメニューの調理実演や大分県産の食材を紹介し、来場者にPR。

展示スペースでは、新製品「冷温切替ショーケース」、フットセンサー式自動スライド扉冷蔵庫、IoT仕様の冷凍冷蔵庫、様々な業種に向けた特注ショーケース等、数多く展示しました。

第26回 国際製パン製菓関連産業展 (2019 モバックスウ)
2019年2月20日(水)～2月23日(土)

『Daiwa オリジナルLED』を目玉に、洋菓子・和菓子・サンドイッチ、ショコラなど様々な商品に応じた特注対面ショーケースを展示。

また、製菓店向けメニューの調理実演を行い、当社の調理機器のメリットを十分にPRしました。



第21回 インターフェクスジャパン
2019年7月3日(水)～7月5日(金)

研究施設・医療施設向けに試験管保冷作業ケースやフレークアイス製氷機を展示。

お客様の要望に合わせた特注仕様の多様性と当社の高い技術力をPRしました。

『魅力的で使いやすい』をカタチにしたデザイン

当社には他社にないユニークな冷蔵庫があります

環境に
やさしい
冷蔵庫

- ノンフロン断熱
- HFC冷媒
- インバータ制御

業界オンリーワン
製品の開発

- インバータ制御自動スライド扉冷蔵庫
- 小型プラスチックラ/ショックフリーザー

顧客ニーズに
対応した製品

- 特注対面ショーケース
- ワインセラー

 **GOOD DESIGN**



自動
スライド扉
冷蔵庫



お客様の商品を魅力的に演出する特注ショーケース

洋菓子



ワイン・日本酒



惣菜・弁当



パン・サンドイッチ



ショコラ



精肉



鮮魚



果物



2019 NEW MODEL

インバータ制御 スライド扉冷凍・冷蔵庫

スライド開閉扉の省スペース設計

- 作業スペースの有効活用
- 狭い通路でも往來を妨げない
- 荷物の出し入れがスムーズ



411YCD-S-EC



5035-S-EC



DRI-340LF-SKBF

フレークアイス製氷機

製氷コストは1kgあたり1.53円*

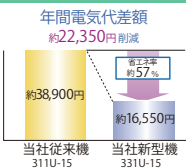
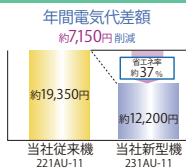
*当社条件による試算

- 製氷能力340kgタイプ
- 鮮度保持の冷却に最適



スライド扉小型冷蔵ショーケース

商品をよりキレイに魅せるLED照明標準装備



LED照明標準装備

商品を明るくきれいに魅せるLED照明。長寿命で省エネ性能が向上しました。



231AU-11



331U-15



802OP-SDR

別置型 多段オープンショーケース

鮮度管理・温度管理・活きの良さを演出！



日配・乳製品



青果



精肉



鮮魚

インバータ制御 **平型オープンショーケース**

アイス/冷凍食品/精肉/鮮魚/日配/惣菜/弁当
用途にあわせてワイドに対応

- 冷凍/冷蔵/惣菜・弁当で温度帯切替
- インバータ制御による省エネ設計
- 設置場所を選ばない単相100V電源
- 店舗環境に配慮した静音性<46.5dB>



ROP-301FCB-EC

カウンターショーケース (恒温高湿タイプ)

新鮮で美味しい自慢のネタをアピール！

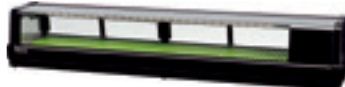
- LED照明が庫内の食材を明るく鮮やかにショーアップ
- 庫内湿度約80%で冷風による乾燥や変色を抑え、食材をやさしく保管



LED照明ON



LED照明OFF



DN621H-R



DSC-053SWA

スチームコンベクションオーブン

(自動洗浄機能付き)

1日1回[※]の洗浄で輝きが長く！

※目安です。使用頻度や汚れ具合により、洗浄を行ってください。

- 自動洗浄機能で洗浄作業大幅軽減
- 定期的なリンス洗浄で庫内汚れ抑制効果



業務用電子レンジ

省エネ・省電力・省スペース

- ハイパワー1900Wインバータ出力でスピード加熱、時短調理
- ステップ加熱で、冷凍食材の解凍ムラを防止
- 注文の多いメニューの火加減を記憶する30メモリー
- 2段積みでスペースの有効活用・作業効率アップ



DMW-192PS

会社の概況

2019年6月30日現在

商号	大和冷機工業株式会社
英文名称	DAIWA INDUSTRIES LTD.
資本金	9,907,039,049円
発行可能株式総数	84,000,000株
発行済株式総数	51,717,215株（自己株式567,810株を含む）
中間期末株主総数	2,503名
大阪本社	大阪市天王寺区小橋町3番13号 大和冷機上本町DRKビル
東京本社	東京都台東区台東2丁目4番3号 大和冷機秋葉原DRKビル
佐伯工場	大分県佐伯市大字長良3325番地6
福岡工場	福岡県太宰府市大字北谷字岸田206番地6
関東利根工場	埼玉県加須市豊野台1丁目345番地5
従業員数	2,444名
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冷凍・冷蔵庫、ショーケース、製氷機、自販機及び冷熱応用製品の製造販売及びリース並びに点検修理 ・ 冷熱機器の設備の工事及び各種部品の製造販売並びに点検修理 ・ 厨房機器、装置、部品の製造販売及びリース並びに点検修理 ・ 店舗・厨房の企画、設計及び施工

役員

2019年6月30日現在

取締役最高顧問	尾崎	茂
代表取締役社長	崎	敦史
専務取締役	杉	宏馨
取締役	前田	康
取締役	川	明
取締役	西久保	広
取締役	小野	茂
取締役	尾崎	哲
取締役	平出	郎
取締役	工藤	治
常勤監査役	大津	一
監査役	日下	敏
監査役	楠	裕

- (注) 1. 取締役 西久保博康、小野芳明の両氏は、社外取締役であります。
 2. 監査役 日下敏彦、楠裕美の両氏は、社外監査役であります。

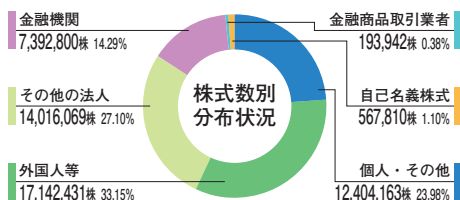
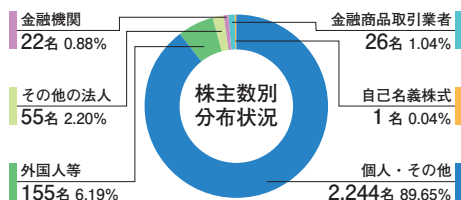
執行役員

2019年6月30日現在

社長執行役員	尾崎	敦壽	史宏馨
専務執行役員	杉前	田	広
執行役員	尾崎	川	茂
執行役員	尾崎	崎	明
執行役員	平	出	一
執行役員	工	藤	道
執行役員	大久保	村	忠
執行役員	江	干	
執行役員	乾		

株式分布状況

2019年6月30日現在



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
期末配当金受領株主確定日	12月31日
中間配当金受領株主確定日	6月30日
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人	特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	特別口座の口座管理機関連絡先 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部
公告の方法	電子公告により行う (公告掲載URL http://www.drk.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種のお手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、特別口座管理機関の三菱UFJ信託銀行にお問合わせください。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。

信頼で結ばれたワイドなサービスネットワーク

「より迅速に、よりの確に」をモットーに、お客様が安心してお使いいただけるようトータルサポートでフォロー致します。

